

【特徴】

当センター心臓血管外科は、成人の心臓および血管（大血管・末梢血管）に対する外科治療を学べる施設である。病棟では循環器センターとして、循環器内科と同じ病棟での連携をとり、内科・外科の隔たりなく一環した循環器治療を行っている。別チームである小児心臓血管外科とも連携をとり先天性疾患を学ぶ機会を得ることができる。

心臓手術では弁膜症手術が多く、弁膜症治療の関西での拠点となるべく、新しい外科治療方法にも積極的に取り組んでいる。

外科専門医すべく幅広い外科知識・経験を積むことが必要であり、心臓血管外科研修に先立ち外科研修（消化器・呼吸器・小児・乳腺）および救急の研修を行う。

【研修目標】

1. 一般目標

循環器疾患の病態を正しく理解し、病態・患者背景に応じた最善の治療法を選択できるようにする。手術手技の習得のみならず、術前評価・術後管理を適切に行う能力を身につける。また、患者・家族とのコミュニケーションをとり、様々なケアを行う姿勢を身につける。

2. 行動目標

- (1) 循環器の各疾患につき、病態を理解する。
- (2) 循環器内科での検査の結果につき、正しく評価し重症度を判定できる。
- (3) ガイドラインに基づいた手術適応を理解する。
- (4) 病態・患者背景に応じた手術方法を適切に選択できる。
- (5) 人工心肺による体外循環を理解し、適切な補助方法を選択できる。
- (6) 強心剤などの循環作動薬の作用を理解し適切に使用できる。
- (7) 人工呼吸器を含む呼吸管理を適切に選択できる。
- (8) 麻酔科、ICUとの連携を適切にとることができる。
- (9) 患者・家族に病態を適切に説明できる。
- (10) 外科専門医・心臓血管外科専門医を取得するための要件を満たす。

【方略】

- (1) 循環器内科との症例検討を行い、病態を正しく理解する能力を養う。
- (2) 朝の外科回診に参加し、現状の問題点および治療方針を上級医とディスカッションする。
- (3) 手術に参加し、手術手技および術中判断を身につける。
- (4) 集中治療室の朝の回診に参加し、術後重症治療の方法を理解する。
- (5) 手術症例検討会で術前評価・治療計画をディスカッションし確認する。
- (6) 研究会・学会発表を積極的に行い、論文発表につなげる。

【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導者から評価を受ける。

【研修プログラム】

- (1) 1年目（卒後3年目）
外科系専門科をローテートする。
- (2) 2年目（卒後4年目）
心臓血管外科研修

集中治療室研修を2ヵ月行う。

循環器内科研修（カテーテル、超音波）研修を2ヵ月選択可。

(3) 3年目（卒後5年目）

心臓血管外科研修

小児心臓血管外科を希望により2ヵ月研修選択可。

【見学等問い合わせ先】

心臓血管外科部長 佐々木 康之